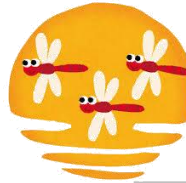


秋を探し求めて、付近を散策



だんだん涼しさが広がり、実りの季節となりました。小規模利用者の皆さんは夏の疲れもなく、元気にお過ごしです。

さわやかな秋の晴れ間、利用者の皆さんと歩行訓練も兼ね、近くのかぼちゃ公園まで散歩に出かけました。利用者の蓑田さんが作られた手作りの手動型竹とんぼを順番に代わる代わる飛ばしながら、童心にかえったかのように「わー飛んだ！」とみなさん大はしゃぎ。日ごろ空を見上げることは少ないですが、この時ばかりはゆっくり秋空を眺め、心も体もハッピーなひと時となりました。



手動型竹とんぼ

未来のナース、頑張れ Boy★

看護実習の学生が小規模へ見学に来ました。頑張る姿に利用者さんとても元気をもらったようです。ほほえましい様子と、学生さんからのメッセージをご紹介します。



熊本駅前看護リハビリテーション学院から来て、はるかぜで在宅実習をさせて頂きました。

療養者だけでなく家族も対象に看護を展開するため、病院実習とは違い大変勉強になります。職員さん達も優しく毎日が充実しており、今後の実習に生かしていきたいです。

看護科：3年：相良剛太

ぴっかりブラザーズ

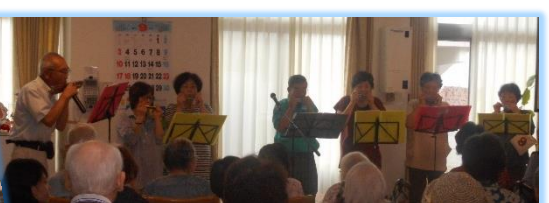
8月30日に看護小規模にぴっかりブラザーズさんが来て下さいました。二度目ということもあり「また会えて嬉しい」と大勢の方が大喜び。一緒になって唄ったり、戦争の話の場面では涙を流される方もおられたり。皆さんの色々な表情を見ることが出来ました。



ハーモニカ演奏会

9月6日にはハーモニカ演奏会が行われました。演奏だけでなく手を使った遊びなどもあり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

看護小規模の利用者さんもハーモニカを上手に演奏されました。毎日練習されていたのをみんな知っていたので、聞いた時はとても感動しました。



杏心の丘に私設図書館開設



若い時の愛読書と言えば、少年ジャンプとヤングジャンプでした。単行本や文庫本など、読む機会がないと言えば嘘で、気がなかったというのが本音です。そんな私が、読書にはまるきっかけとなった本が、「為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは 人の為さぬなりけり」の名言で有名な『小説上杉鷹山』です。

30歳を過ぎた頃だったと思います。「このままでは、うだつが上がらないサラリーマンで終わってしまう。何かしなければ。」と将来を考え始めていた頃、先輩から「本嫌いでも、上杉鷹山という面白い本があるから、騙されたと思って一回読んでみて。」と、勧めてもらいました。

読んでみたところ、あっという間に引き込まれて徹夜で上下巻を一挙に読破。おまけに感動して、涙まで流してしまいました。それがきっかけで、今では月に平均3冊、別々の鞆に入れ同時並行で読むようにしています。最近では、60歳以降の人生に関する本が中心ですが。

杏心の丘にお住いの方を中心に、無料で貸し出しをしています。今までは、古本屋や友人に上げたりして処分していましたが、せっかくなら杏心の丘において再活用しようと思った次第です。まだ、冊数は少ないですが、お気軽にご活用ください。

(館長 浦上)



2Fの地域交流ラウンジに、本75冊、DVD19本が並んでいます。
貸し出しの際は、2Fフロントまでお気軽にどうぞ！



杏心の丘 園芸クラブ

秋風が涼しくなり、茄子の実が付き始めました。秋ナスは美味しいと言いますので、今から食べるのが楽しみです。収穫したら杏心の丘の食事の中に加えていただく予定です。

ネギも写真のように成長してきました。トマトはまだ思うように成長していませんが、あきらめず大事に育てています。

10月から新たに挑戦する野菜を検討中です。おすすめの野菜がありましたら教えてください。

(サ高住 宮崎)



杏心園芸